

宮崎県議会議員
田口ゆうじ
議会だより

きずな

創刊号

平成19年7月 編集/発行 田口ゆうじ 延岡市旭町3-1-1



ご支援ありがとうございました

県議会の定数は45名ですが、民主党会派はわずか3名で大変小さい集団ですが、小粒でもびりりと辛い山椒のように、存在感のある議会活動を展開できるよう精進してまいります。今後とも叱咤激励をよろしくお願ひします。

現在、国、県、市ともに大変厳しい財政状況の中、地域間競争に負けない魅力ある地方、地域づくりを進めていかねばなりません。県北の県議団が丸丸となって県北、そして延岡市の発展のために全力を傾注して参ります。なお、定期的に県議会便り「きずな」をご送付いたしますので、ぜひともご遠慮なく貴重なご意見やご要望をお寄せください。

民主党県連の幹事長に就任

7月1日に宮崎市のひまわり荘で、民主党本部より副代表の円より子参議院議員、東国原知事、津村宮崎市長、連合宮崎横山会長を来賓としてお招きし、県連大会を開催いたしました。

活動報告や活動計画等々、そして参院選の支援と新役員の確認をいたしました。その結果、私は幹事長に就任いたしました。党勢拡大に全力を尽くして参ります。

ごあいさつ

田口雄二

連日、暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。3町との合併後初めての県議会議員選挙では、山口哲雄前県議会議員の突然の病气辞任により、急遽出馬したにもかかわらず、皆様に力強いご支援をいただき、無事に議席をつなぐことが出来ました。また、直後に実施されました市議会議員選挙にもいい弾みとなり、民主党公認候補9人全員の当選を果たすことができました。皆様のご支援ご協力に、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

東国原知事の誕生で、宮崎県が全国的なブームになり、県民やマスメディアの注目の中、6月定例県議会が開催されました。質問形式が今回より一問一答法式が初めて導入された中、初登壇をさせていただき、知事や当局と論戦を交わすことができました。内容につきましては、後述いたしましたのでご覧ください。

【現職（主なもの）】

- 県議会「商工建設常任委員会」副委員長(07年5月から)
商工業や観光の振興、企業誘致、道路や河川の整備等について審査する
- 県議会「中山間地域振興対策特別委員会」委員
(07年5月から)
中山間地域の振興及び都市部との格差解消に関する調査活動を行う
- 宮崎県総合計画審議会 委員 (07年5月から)
新たな県総合計画「新みやざき創造計画」の計画の策定の諮問、基本的な考え方について審議する
- 民主党宮崎県連 幹事長 (07年7月から)
- 民主党宮崎県議団 政審会長 (07年5月から)

6月議会は、東国原知事が1月に就任したことにより、骨格予算でスタートしたため、約985億円の肉付け予算案が提案されました。この予算案は、知事が選挙で訴えたマニフェストを実現するための事業が盛り込まれたものです。

また、マニフェストの実現にむけて、1期4年間の「新みやざき創造計画」案も提示されました。私は一般質問2日目に、延岡からお越しいただいた多くの傍聴者に見守られながら（心配しながらかな？）、知事や当局に補正予算の新事業や選挙で訴えてきたことを中心に質問いたしました。



質問項目

1. 知事の政治姿勢について
マニフェストに対する認識について
2. 災害安心基金について
支給対象範囲・支給条件について
3. 観光促進事業について
旅行情報誌「九州じゃらん」のアンケートについて
本県のPR方法について
4. 企業誘致について
対象業種・立地場所・誘致方法について
5. 本県学生の就職状況と雇用の確保について
6. 工業振興における人材育成について
7. 神話高千穂トロッコ鉄道について
8. 延岡西高跡地の活用について

質問要旨

知事のマニフェストの認識について

【質問】知事はマニフェストの達成率を、任期満了時に「60%いけば大成功」との見解を定例記者会見で述べられた。これからマニフェスト実現にむけて、スタートしようとするときに、60%で大成功というにはおかしい。私はマニフェストは有権者との約束と理解しているが、マ

ニフェストに基づいて応援した有権者との約束を反故（ほご）にするものだ。知事の認識を伺いたい。

【知事】マニフェストは県民との約束、知事としてその達成に全力を尽くす義務がある。達成率を高めるためには、初めに数値目標を低く設定すればいいが、県民の福祉の向上を考えれば、目標を高くかかげ、その達成に向けて一生懸命努力するのが政治家のあるべき姿と私は考える。

災害時安心基金について

【質問】これまで各市町村や県議会から恒久的な支援制度の設立を要望してきたが、今回、市町村との共同の災害時安心基金設置が示された。基金の支給対象範囲はどうなるのか。また、所得制限は設けるのか。

【知事・福祉保健部長】被災者生活再建支援法が適用された市町村等を対象としている。所得



の制限もない。

昨年のえびの市の水害、延岡市の竜巻被害には要望が強かったにもかかわらず、支援金は支給されませんでした。この基金設置により、同規模の被害は今後、支給の対象となります。

企業誘致について

【質問】 知事は4年間で企業誘致100社、新規雇用10,000人を目指す計画であるが、これまでの企業誘致は県央中心になっている。今後、対象業種、立地場所、誘致方法をどう考えているのか。

【知事】 今後成長が見込める半導体、デバイス産業、自動車産業、情報サービス産業(コールセンター等)、新エネルギー(太陽電池等)、バイオ、食品製造業、医療関連企業などを考えている。地域経済の振興と雇用の拡大に大きな効果が期待できるので、県内の各地域に立地が進むことが望ましい。昨年県内5地区に「企業立地促進協議会」を立ち上げたところで、地域の特性を生かした立地環境整備を検討して参りたい。

県議会

一般質問 第2日

中国木材進出で県姿勢



田口雄二議員(民主・延岡市)は、日向市に進出を計画している製材最大手の中国木材(広島県)に対して、県をたたく。中国木材は日向市細島四上、川下の地元業界が共存、共栄できる田舎な着地点を探してほしいと述べた。知事は中国木材と地元製材業界が話し合いを持つように機会を設けていることを説明。「中国木材と川上、川下の地元業界が共存、共栄できる田舎な着地点を探してほしい」と述べた。田口議員は昨年度末に閉校した延岡市・延岡西高の跡地活用についても質問。高岡耕吉教育長は「教育財産として活用する方向で考えている。本年度の基金設置は賛成だが、賛否が分かれない」と答弁した。



一問一答方式が導入された県議会。質問する田口雄二議員

県議会六月定例会一般質問を終了。今回から選択導入問は十九日、五日間の日程の一問一答方式には、登壇

会答 議一 問一

緊張感あり、分かりやすい 消化不足、中身疑問の声も

した二十二人の大半がチャレンジ。初の試みに時間配分の難さ、一括方式と比べ納簿のいふ答弁が得られにくいなど消化不良の声もあったが、連日満席の傍聴席からは「分かりやすかった」の声が多聞かれた。反省員が受け、今後はより質の高い論議が求められる。県北からは田口雄二議員(民主・延岡市)、井本英雄議員(自民・同)、十屋幸平議員(自民・日向市)、黒木正一議員(同、東田村郡区)、河野哲也議員(公明、延岡市)の順に、河野議員を除く四人が一問一答方式で臨んだ。田口議員は東国原知事マニフェストについて「やる前から六割達成なら大成功と言ったのはおかしい」と追及。時間があれば、もう少し突っ込みたかった。全体的に予定したうちの三分の二しかできなかった」と残念そうに次やるときはポケットをもっと増やして臨みたい」と意気込む。

神話高千穂トロッコ鉄道の支援について

【質問】 再開に向けて、2億円を目標に支援金の募集を始めた。存続か、廃止かは県下最大の観光地の高千穂町の今後を占う大きな決断。県として、鉄道再開に向けて支援できないのか。

【知事】 第3セクターとしての経営を断念した経緯から、県が再び、鉄道経営に財政支援を行うことは考えていない。しかし、個人としてPRすることは考えている。

延岡西校の跡地活用について

【質問】 卒業生が巣立って2ヶ月以上が経過しているが、何の方向性も示されていない。当然県施設として整備されるものと思っているが、跡地活用をどのように考え、いつごろ結論を出すのか。

【教育長】 庁内に設置している「延岡地区高等学校再編整備検討委員会」において、「教育財産」としての活用を検討している。今年度のできるだけ早い時期に結論を出したい。

戦いのあと

地方に光・県北に活力を!
田口ゆうじ必勝総決起集会

座談会(北川町)



1,500人集まった決起集会(総合文化センター)



帰陣式での
あいさつ(旭町)



いざ出陣!事務所前(北小路)



当選が決まり
差し入れのケーキ
でお祝い

県議会傍聴・県庁見学に来ませんか。

今、県庁は新知事誕生後、県内一の観光スポットになっています。大型観光バスが早朝より押しかけています。県議会開会中はもちろん、閉会中でも議場の見学ができます。議場見学は予約が必要ですが、県庁はいつでも見学できます。うまくいけば、知事にバッタリ遭遇なんてことも。見学ご希望の方はご連絡下さい。

**県政
相談**

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。
田口雄二 ☎0982-26-1945 携帯 090-5021-7729
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp